

令和元年度第1回長崎県後期高齢者医療広域連合懇話会 開催結果概要

- 1 開催日時 令和元年7月23日（火）14時00分から16時06分まで
- 2 開催場所 長崎市栄町4番9号 長崎県市町村会館 4階 第2会議室
- 3 出席委員 9名
山崎会長、小田口副会長、宮田委員、伊藤委員、大貝委員、藤井委員、渋谷委員、堀委員、宮本委員
- 4 傍聴者 なし
- 5 会議の概要

（1）議題等

- 第1号 後期高齢者医療制度について
- 第2号 令和2・3年度 保険料率改定に向けて
- 第3号 保健事業について

（2）委員からの主な意見

- 第1号 後期高齢者医療制度について
- 第2号 令和2・3年度 保険料率改定に向けて
 - ① 医療費が上昇傾向にあることは理解しているが、年金生活者としては保険料が上がらないよう工夫してほしい。
- 第3号 保健事業について
 - ② 健康診査事業は、効果を検証した上で積極的に実施すべき。
 - ③ 糖尿病重症化予防事業は費用対効果が重要だ。
 - ④ はりきゅう施術費助成事業について、医療費適正化に繋がるか検証すべき。
 - ⑤ 後発医薬品使用促進事業を行うことは、薬剤費の削減につながるが、医療費の削減につながるかは疑問である。
 - ⑥ 医療費通知事業により通知を送付することで、どれだけの効果があるか。
 - ⑦ 訪問指導事業で、服薬状況聴取や後発医薬品の説明を行う際、薬剤師が関与したほうがよい。
 - ⑧ 長崎県は精神科病床が他県より多いので、入院医療費の分析には病床構造を取り入れたほうがよい。
 - ⑨ 今後の後期高齢者の増を見据え、がん患者の増加等が要因となる高額医療費に対する分析が必要だ。
 - ⑩ 評価は数値管理が望ましい一方、数値だけにとらわれすぎると逆効果もある。
 - ⑪ 口腔ケア事業においては、第1期計画で実施されていた受診者1人当たりの医療費の評価を追加していただきたい。
 - ⑫ 数値目標の計画であるならば、統計データのみならず、実際の医療情報を活用されたほうがよい。
 - ⑬ 健康診査内容にフレイル項目を追加することが、一体的実施の役割を果たすことにつながると思われる。